

令和元年度特別展プレスリリース



80年代のアート・シーンを飾った新進の若手女性作家「超少女」の一人として注目された田嶋悦子は、増殖する女性身体のモチーフと植物を組み合わせた、極彩色の釉薬が施された大規模な陶のインスタレーション作品を発表しました。大胆で強烈な表現は、既成の枠組みや抑圧からの解放という内なるエネルギーの発露でもありましたが、90年代に入ると、陶の表面を覆っていた釉薬(ガラス質)の皮膚は無垢の鑄造ガラスへと姿を変えます。ともに窯から生まれながら、光と人の視線を中心へと吸い込んで透過するガラスと、光も人の視線も表面で受け止める陶。その融合によって、かつての爆発的なエネルギーは、陶とガラスの呼応関係の中で力強く循環するものへと変化していきました。本展では、90年代の「Cornucopia(コルヌコピア)」から最新作「花」まで、陶とガラスを独自に解釈し、しなやかに変化し続ける田嶋の生命力あふれる花々を紹介します。

【展覧会名】 特別展「田嶋悦子 花咲きぬ」

【会 期】 2019年7月13日(土)～9月29日(日)

※休館日:7月16日(火)、8月20日(火)、9月17日(火)

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

【会 場】 石川県能登島ガラス美術館 展示室A、D

【作品点数】 26点

【入 館 料】 高校生以上/個人 800円(20名以上の団体700円)、中学生以下 無料

【主 催】 石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

【後 援】 七尾市教育委員会、北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、エフエム石川、ラジオななほ

【お問合せ】 石川県能登島ガラス美術館

本展担当学芸員:米田晴子

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125-10

TEL:0767-84-1175 FAX:0767-84-1129

E-mail: yoneda@nanao-af.jp(米田)

※企画展会期中には、展示室B・Cにて当館のコレクション展示も行います。

■ 展覧会の見どころ

陶とガラスによる表現

陶芸作家としてキャリアをスタートした田嶋悦子が、ガラスを組み合わせる制作を始めたのが「Cornucopia(コルヌコピア)」シリーズです。「Cornucopia(コルヌコピア)」とは、古代ギリシア・ローマ時代の「豊穡の角」を意味し、果物と花で満たされた羊の角は、豊かさを象徴するイメージとされました。田嶋は陶器から釉薬(ガラス質)の皮膚を剥ぎ取り、かわって無垢のガラスという芯を入れました。これは「やきもの」を解体・再構築し、その本質に迫る革新的な手法と言えます。作家は一貫して植物、とくに花をモチーフとして作品を制作していますが、内部の無数の気泡によって柔らかく光を通す鑄造ガラスを加えることで、作品には水分を湛えているかのようなみずみずしさが備わりました。本展覧会では、陶とガラスの花たちが一堂に会し、田嶋悦子の豊穡なる花の世界が展開されます。

レモンイエローに彩られた花々

2012年に始まった「Flowers」シリーズ以降、田嶋作品にはレモンイエローが用いられています。目に鮮やかなビタミンカラーは作品にはちきれんばかりの生命力を与え、見る者の気持ちを高揚させます。また、床置きインスタレーション作品が中心となっているこのシリーズに合わせて、1室がレモンイエローの花園のように構成されています。しっかりと大地を踏みしめる花々と、上に向かって伸びていくガラスが生み出す開放感が本展の見どころのひとつでもあります。そして、それを取り囲むように、アジサイの葉脈を写し取り、緑の濃淡で色づけられた陶にガラスを組み合わせた作品群が配置されます。ひとつひとつの裏側に施され、角度によって見え隠れする黄色が作品に明るさと活気をあたえ、ガラスの輝き、透明感とあいまって展示室全体が夏の花園のようになります。

■ 作家プロフィール

田嶋悦子 TASHIMA Etsuko

1959年 大阪市生まれ

1981年 大阪芸術大学工芸学科陶芸専攻卒業

2001年 IAC (International Academy of Ceramics) 会員

2005年 東洋陶磁学会会員

日本陶磁協会会員

現在 大阪市在住、大阪芸術大学工芸学科陶芸コース教授

受賞

1992年 平成3年度咲くやこの花賞・美術部門(大阪市)

2004年 第15回タカシマヤ文化基金 タカシマヤ美術賞

2005年 2004年度日本陶磁協会賞

2019年 紺綬褒章受章

パブリックコレクション

東京国立近代美術館、茨城県陶芸美術館、富山市ガラス美術館、金沢21世紀美術館、石川県立九谷焼技術研修所、岐阜県現代陶芸美術館、滋賀県立陶芸の森、高島屋史料館、兵庫陶芸美術館、大原美術館、高松市美術館、新北市立鶯歌陶磁博物館(台湾)、サンフランシスコ・アジア美術館(米国)、チェゼン美術館(米国)、日本美術工芸館(アルゼンチン)

■会期中のイベント

絵本のじかん～絵本で感じる作品世界～

展覧会テーマと繋がる絵本の読みがたりの後、ミニ・ギャラリートークを行います。

[日時] 7月28日(日)、9月15日(日)各日14:00～ 約40分

[場所] 多目的ラウンジ

[読み手・案内] 米田晴子(本展担当学芸員)

[参加費] 無料(別途観覧料必要)

[定員] 各回20名程度

[対象] どなたでも

アーティストトーク

クロージングイベントとして、本展出品作家の田嶋悦子氏と茨城県陶芸美術館館長で前東京国立近代美術館工芸館工芸課長の金子賢治氏の対談を行います。田嶋氏を活動初期から見てきた金子氏のお話を伺いながら、今後の陶芸、ガラスの展望についていただきますお話しいただきます。

[出演] 田嶋悦子氏(出品作家)×金子賢治氏(茨城県陶芸美術館館長)

[日時] 9月29日(日)14:00～ ※予定

[場所] 多目的ラウンジ(新館2階)

[参加費] 無料(別途観覧料必要)

[定員] 30名

[申込] 7月13日(土)より電話にて受付

※定員に達し次第締め切ります

■広報用画像



1 Cornucopia 04-Y'III
田嶋悦子/2004年/作家蔵
撮影:斎城 卓



2 Cornucopia 08-Y4
田嶋悦子/2008年/作家蔵
撮影:斎城 卓



3 Flowers 13
田嶋悦子/2013年/兵庫陶芸美術館蔵
撮影:斎城 卓



4 Record
田嶋悦子/2017年/作家蔵
ガラスパーツ制作:西川宏太
撮影:斎城 卓



5 花-1
田嶋悦子/2019年/作家蔵
撮影:斎城 卓

画像1～5を広報用にご提供いたします。
ご希望の方は下記をお読みの上、美術館担当者までお申し込みください。
担当:米田 (Email: yoneda@nanao-af.jp)

<使用条件>

- ・広報用画像の掲載時には各画像のキャプションおよびクレジットを明記してください。
- ・トリミング、画像への文字乗せはご遠慮ください。
- ・情報確認のため、校正紙を当館までお送りください。

以上、ご理解、ご協力のほど、何卒よろしくお願いたします。